

# 沖縄に報復 サた傷つく

僕は、専守防衛に必要な最低限度の反撃能力であれば、持つていいともいふとは思っていません。でも「敵基地攻撃能力」は、専守防衛を逸脱してると危険しています。

僕は沖縄に住んでるので、沖縄に「敵基地攻撃能力」の軍備が配備されるなどなかつたときには、先立つかうかうござるを擧つて、その報復が沖縄に来る、「抑止のため」「本土

を守るために」といつて沖縄がまた傷ついてかなり危機感を持つてしまうと、反発を感じます。

「敵基地攻撃能力」を「反撃能力」と書くと、「アシアの解放」を掲げた太平洋戦争や、ロシ亞がウクライナ侵略を「自衛のため」と書いて換えていふのと同じで、とても危険です。暴力性や危険性をそのままに言葉だけ換えて推し進める

ので、平和的外交解決の具体な方法が示されるといふ。

「赤旗」では、そういう報道を期待しています。

「危ないから軍拡!」とくわわかりやすい論理に対抗するためには、軍拡の行き着くところに戦争があると踏まえて、平和的解決の道を粘り強く探つて、必要があります。

## 芸人 せやろがいおじさん

と自分が、まことにしたて踏み込もうとするところではないか。

沖縄といふと、与那国島での

軍事演習とか、民間道路を軍事車両が通るとか、軍拡が着々と進んでくると感じます。それが

緊張をあおって、こうした軍備で備えなければという気持ちになつながらつづらがつむがつむと思えます。



本人提供

## 大軍拡 異議あり